

本集成第二・三期（既刊⑬⑭⑮）の解題に誤植がありました。お詫び申し上げます。左記のとおり訂正いたします。

第二・三期解題正誤表

30	25	25	20	20	20	20	20	19	19	18	17	17	17	17	17	16	13	巻
11	14	3	16	14	13	13	13	16	6	12	11	11	11	10	7	3	8	頁
9	9	21	9	3	6	5	2	上段4	12	6	9	7	2	22	6	21	20	行
本意ならん	時うつり事變して	久しく逢／	「翁（下付）」	三ツ物等の連句に。	紙見返し。	四十二丁（「一」）「四十一」。	雲母摺後補表紙	度々	『近世文学』	丁付なし。本文二十七丁。	松柏子	租月	租月	租月	（現存縦剥落あり、一一・三種、	本文十二行。版心	住職知詮	誤
本意なからん	時うつり事變して	久しく逢／	「翁（丁付）」	三ツ物等の連句に。	紙見返し「四十二終」オ。	四十丁半（「一」）「四十一」。「十六」ウは白。	雲母摺原表紙	度々の	『江戸文学』	丁付が各丁裏ノド下部にある。本文二十七丁（「一」）「廿七」。	松柏子	租月	租月	租月	（剥落あり、縦一一・三種、	本文十二行。一冊。版心	住職智詮	正

35	35	35	35	35	35	35	35	35	32	32	32	31	31	31	30	30	30	30	巻
34	25	23	23	22	21	21	21	7	13	11	10	15	10	9	24	18	15	13	頁
上段7	15	23	2	5	18	17	12	3	12	12	上段6	5	10	5	10	10	4	初	行
よくかない	得月堂主人	／自題／ 「法橋惟舟」	「法橋惟舟」	惟舟	（森銃三筆）。	／夢くふ年の始哉	奥「如是叟	「舎羅は	ならずという	所用	（十九終）六行目	和漢に志さしを	「スミはらい」	紙一束	第一五分五番道	御用に候ハ、	（二十四丁オ）	誤	
よくかなひ	得月堂の主人	／自題／ 「法橋惟舟」	「法橋惟舟」	維舟	（森銃三筆。縦一一・一種、横二二・一種）。	／夢くふ年の始哉	奥「如是庵叟	「舎羅ハ	ならずといふ	志用	（十九終）オ六行目	和漢に心さしを	「スミはらい」	紙壹束	第一五分五番道	御用に候ハ、	（二十六丁オ）	正	